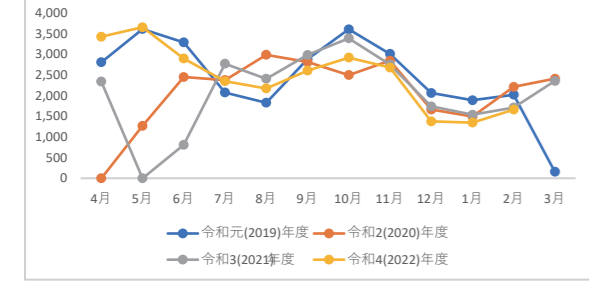


令和4年度下半期（10月～3月）の園内利用について

令和元年3月に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されて以降、来園者数は減少傾向でした。一方で、令和4年度は感染状況によって減少する時期もありましたが、少しずつ増加してきました。

利用者の傾向としては、上半期同様、生きもの観察や園内散策、写真撮影など、屋外で過ごす方が多くみられました。スタッフが屋外で巡視や園内整備を実施する際にお声がけいただく機会も増え、園内の旬の情報や観察の仕方など、来園者のニーズに応じたお話をさせていただきました。



館内では、園内で観察出来る生きもの生体や標本などを展示した他、来園者の要望に応じた解説を行いました。また、中高生を対象にした年間登録制イベントの活動を紹介するパネルを作成してPRしました。



鳥の羽の解説



ニホンアカガエルの卵塊の展示

2022年11月26日に救命救急講習を行いました。ふれあいの森のスタッフ2名とNPO法人いっちゃんクラブ会員17名の計19名が参加し、堺市消防局の職員の方をお呼びして、傷病者が発生した際の対応と心臓マッサージの手法を教えてくださいました。また、同年12月8日には自衛消防訓練を行いました。スタッフ3名、いっちゃんクラブ会員15名の計18名が参加し、火災発生時の対応の確認と、実際に水消火器を使っでの消火訓練を行いました。



救命救急講習の様子



自衛消防訓練の様子

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、現在以下の対応を実施しています。

- 来園時のお願いについて
 - ・発熱や体調不良時の来園自粛
 - ・来園時の手指消毒（森の館内外の複数個所にアルコール消毒液を設置しています）
 - ・来園時のマスク着用は個人の判断に委ねます

- 団体受入れについて
 - ・検温及び体調確認

- イベント参加について
 - ・検温及び体調確認



堺自然ふれあいの森

開園時間 9:00～17:30(3月～10月)・9:00～16:00(11月～)
休園日 月曜(祝日の場合は、翌日休み)、年末年始
入園・入館・駐車場 無料

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740
TEL 072-290-0800 <http://www.sakai-fureainomori.jp/>

- バス** 泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば「鉢ヶ峯行き」
「公園墓地北口」下車 徒歩 約1,200m
※日・祝は「堺公園墓地行き」あり。「自然ふれあいの森前」下車すぐ
- 車** 阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km
「堺公園墓地」を目標にお越しください

発行 堺自然ふれあいの森 指定管理者(ふれあいの森パートナーズ)
ふれあいの森パートナーズは、(株)生態計画研究所・NPO法人いっちゃんクラブの連合体です。



堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第46号

発行：令和5年3月 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)

令和4年度下半期（10月～3月）の普及啓発活動 および団体受入について

1. 普及啓発活動①

■2023年1月28日 堺科学教育フェスタ



1月28日、「堺科学教育フェスタ」(ソフィア堺)に出展しました。堺市の産業を支える企業・団体がブースを出展し、参加者の小学生とその家族に、様々な科学体験講座やワークショップを実施しました。

当施設からは、ミツバチをレジンの中に封入し、標本のストラップを作製する「生きものの封入標本を作ろう」というプログラムを実施しました。昆虫標本作りのスキルを持つスタッフが「標本というものを多くの人に、もっと身近に感じてほしい！」という思いから、壊れにくく、作製しやすいレジン液を用いた封入標本作りのプログラムを企画しました。



当日は多くの方が会場を訪れ、全5回、のべ57名の方に参加していただきました。まず初めに標本について説明を行った後、イベントで使うミツバチの解説を行いました。今回は、秋にふれあいの森で採取したニホンミツバチとセイヨウミツバチを使用しました。2種の見分け方を解説し、ふれあいの森で花の蜜を集めている様子もスライドを用いて紹介しました。子どもたちは、スタッフお手製の標本作成キットを使い、ピンセットを使ってミツバチの脚や翅を壊さないように少しずつひろげ、形を整えて封入標本作製しました。

会場の外の廊下では、ふれあいの森の動植物についての展示を設置するなど、ふれあいの森の豊かな自然についても紹介しました。



1. 普及啓発活動②

11月18、19日の2日間にかけて、大阪自然史博物館で開催された自然史フェスティバルに出展しました。大阪府内で活動している自然環境関連の団体や個人が一堂に会する場で、来場者も2日間で約17,300人にも上りました。我々は、南部丘陵に残された自然や、豊かな里山環境を守るために取り組んでいる事を、展示やクイズ等を用いて分かりやすく伝えるとともに、ふれあいの森の利用促進のための周知活動も行いました。

ふれあいの森では生きもの観察や農作物の収穫、クラフトなど、様々な里山の文化や自然を体験出来るイベントを実施しました。草木染め体験ではセイトカアワダチソウを刈り取りハンカチを黄色に染め、収穫祭では、園内で収穫したもち米で餅つきをしたり、どんぐりの種まきなどを体験しました。また、ちびっこ森のお手伝いでは、落ち葉掻きのあと、集めた落ち葉で遊びました。



自然史フェスティバル
(11月19・20日)



草木染め体験 (11月3日)



収穫祭 (12月24日)



ちびっこ森のお手伝い (1月9日)

2. 団体受入れ状況

10～3月までの団体受入れは、小学校15件、幼保・こども園20件、その他17件でした。小学校に対しては、「森の概要説明」「森の散策」「生きもの観察」の3つのプログラムを軸に実施しました。「森の散策」では、コースの途中に設置されている、里山や生きものに関するクイズを解きながら森を散策し、最後にスタッフが解説を行いました。児童だけで森を歩くため、班の中で地図担当や時間担当など役割分担を行い、力を合わせて園内を散策していました。「生きもの観察」では、職員が同行し、生きものを見つけ方や持ち方などを指導しました。

団体受入れは、施設独自で作成した「新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト」を団体責任者と下見の際に共有し、来園時に双方がコロナ対策に万全に取り組める環境を整えています。



小学校の校外学習の様子

3. その他

堺市内の保育士・幼稚園教員対象の研修会を、10月と11月に開催しました。野外で園児と生きものを観察する際の注意点や、葉や木の実を使ったプログラムを紹介しました。10月に小学校1校に対してオンライン講義を行いました。また3月に小学校1校に対して出張講義を行い、ふれあいの森の様子や観察出来る生きものについて、スライドと実物を交えながら紹介しました。

堺自然ふれあいの森では、FacebookとInstagramの2つのSNSを運用しています。Instagramでは季節の自然を、Facebookでは季節の自然に加えて、スタッフの日常やイベントのお知らせを発信しているので、ぜひフォローしてチェックしてください。



教員研修会



出張講義の実施



Instagram



Instagram



Facebook

令和4年度上半期（10月～3月）の里山環境の 保全活動・普及啓発活動の担い手育成について

■上神谷小学校の学校ビオトープの整備実施

近隣の上神谷小学校からの協力依頼を受け、学校敷地内のビオトープ池の調査と整備を実施しました。作業は池内の魚や水生昆虫といった生きものを捕獲して一時避難を実施した後、池の水をゆっくりと抜いていき、水量が少なくなってから池の底の泥上げを実施しました。作業が完了するまでの間、捕獲した生きものは学校の正面玄関で展示しました。地域の施設として、生きもののために池の環境を良好に維持する保全作業と、小学校の児童に自分の学校にいる生きものを紹介する普及啓発活動に貢献することができました。



池の生きもの捕獲作業



学校正面玄関での展示



池の泥上げ作業の実施

■大学生と連携しての保全緑地の普及啓発プログラムの試行

ふれあいの森でインターンシップに参加している大学生が主体となり、保全緑地を活用して年間登録制の中高生（ジュニアレンジャー）に対して里山保全に関する講義と整備作業を実施する企画を試行しました。本企画は主体となる大学生がアイデアや意見を出しあい、2回に分けてプログラムを実施しました。1日目はお互いに名前を呼び合える関係づくりと森を楽しんで森を好きになるためのガイドを、2日目は安全に関する講習の後、みんなで刃物を使って保全緑地の整備作業を実施しました。両日とも天候に恵まれ、参加した中高生からも「もっとやりたい!」、「またやりたい!」という声が挙がりました。

①保全緑地で森を楽しむゲームと里山ガイダンスの実施 (3月12日)



みんなで親睦を深めるゲームを実施



みんなと森を楽しむ時間を満喫



里山の現状や課題を大学生がガイダンス

②落枝の片付けやネザサ刈り、間伐など保全緑地をみんなで整備 (3月19日)



落枝や折れ枝の片付け作業



休憩時間はみんなで楽しく♪



ネザサを刈って新しい道を整備



樹種を確認しながら間伐作業を実施

大学生にとっては里山保全の技術や企画の考え方を学んで実践できる貴重な機会となり、中高生にとっても大学生からの講義や普段と異なる場所での活動は新鮮で、みんなとてもいい表情でした。来年以降もぜひ継続実施していきたいと思っています。



とても充実感のある日になりました♪